

算数の壁をすらすら攻略！
小学1年生 大きい かず

こたえ

- ひとつ ひとつ、じぶんの こたえと見くらべて、あって いたら ○を しよう。
- まちがえたら、こたえの 下の アドバイスや ちゅういする ところを よんで、 もんだいを ときなおして できるように しよう。
- ぜんぶ ○に なったら、もんだいの ページに 「できたねシール！」を はろう。

おうちのかたへ

毎回、つまずきの克服ポイントやほめポイントを記しています。お子さまの学びの手助けになるよう、ご活用ください。



← ていねいに ひっぱって ください。

1 かずの かきかた

6・7
ページ

き ほん

1	1	2	2
3	3	4	4
5	5	6	6
7	7	8	8
9	9	0	0

1	2	3	4	5
6	7	8	9	0

かきじゅんに ちゅういしよう！

1	1	2	2
3	3	4	4
5	5	6	6
7	7	8	8
9	9	0	0

1	2	3	4	5
6	7	8	9	0

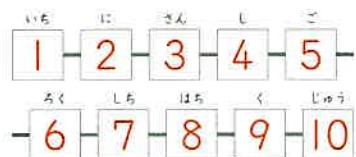
● おうちのかたへ

0 から 9 までの数字を書きます。正しい書き順で書いているかどうか、見てあげてください。5 や 7 は一筆書きで書かずに、2 回で書くことに注意しましょう。3 や 6 などは、左右が逆にならないように気をつけましょう。

★ OK! □ 数字を書くことができます。

上の「OK!」では、その回でお子さまができるようになったことを、確認できます。お子さまが身に付けた力の証となりますので、答え合わせを終えたら、□に✓していきましょう。

き ほん



1 ※じゅんに よんで ○が
かけて いたら 正しい。

- 2 ① 1 2 3 4 5 6
7 8 9 10
- ② 10 9 8 7 6 5
4 3 2 1
- ③ 2 3 4 5 6 7
- ④ 10 9 8 7 6 5
- ⑤ 3 4 5 6 7 8

かずを よみながら かいて みよう！

● おうちのかたへ

まずは、1から10までの数を声に出して読みながら書いてみましょう。そのときに、正しく読めているかを確認してあげましょう。

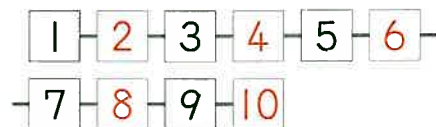
1では、数が増えていく場合の読み方だけでなく、③～⑤のように、数が減っていく場合の読み方に慣れることがねらいです。

2では、数を読みながら書いていくとよいでしょう。わからない場合は、いっしょに数を読みながら、「2の次は何か？」というようにたずねてみてください。



- OK! □ 10までの数を読むことができる。
□ 10までの数字を書くことができる。

き ほん



- ① (2こ) ② (4こ)
③ (6こ) ④ (8こ)

- 1 1 2 3 4 5 6
7 8 9 10

- 2 ① 2 4 6 8 10
- ② 2 4 6 8 10
- ③ 2 4 6 8 10
- ④ 2 4 6 8 10
- ⑤ 2 4 6 8 10

かずは 2ずつ ふえて いるね。

● おうちのかたへ

2とびの数について学習します。最初は1から10まで並んだ数を見て、2とびの数を確認しましょう。

2では、まず、書き込まれている数から2ずつ大きくなっていることを確認します。そして、「2, 4, 6, 8, 10」と読みながら書くといよいでしょう。



- OK! □ 2とびの数がわかる。

き ほん



- 1 ① 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
- ② 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
- ③ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
- ④ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

ひたひた
左から じゅんに よみながら、かいて
みよう！

き ほん

- ① 1 3 ② 7 5
- ③ 2 4 ④ 3 10
- ⑤ 5 9 ⑥ 7 8
- ⑦ 4 1 ⑧ 6 5
- ⑨ 9 6 ⑩ 10 8

● おうちのかたへ

数の大きさを比べる場合は、数直線を見ながら考えるとよいでしょう。



- OK! □ 10までの数の大小関係がわかる。

き ほん



1 ※じゅんに よんで ○が
かけて いたら 正しい。

- 2 ① 11 12 13 14 15 16
17 18 19 20
- ② 20 19 18 17 16 15
14 13 12 11
- ③ 13 12 11 10 9 8
- ④ 15 16 17 18 19 20
- ⑤ 12 13 14 15 16 17

かずは 左から じゅんに ならんで
いるよ。
右に すすむと、かずが 大きくなっ
て いるか、小さくなって いるか、
よく みて みよう。

● おうちのかたへ

11から20までの数字を書けるようになりましょう。2では、書き込まれている数から、右に進むと数が大きくなっているか小さくなっているかを、まず確認します。そして、左から数を読みながら書くといよいでしょう。



- OK! □ 11から20までの数を読んで、書くことができる。

き ほん

① 2 4 6 8 10
12 14 16 18 20

(20こ)

② 5 10 15 20

(20本)

1 ① 2 4 6 8 10 12

② 2 4 6 8 10 12

③ 8 10 12 14 16 18

④ 10 12 14 16 18 20

2 ① 5 10 15 20

② 5 10 15 20

③ 5 10 15 20

かずは 5ずつ ふえて いるね。

● おうちのかたへ

2とびの数と5とびの数について学習します。数を読みながら書きましょう。

ふだんから、身のまわりのものを2個ずつ、または5個ずつまとめて数えてみるとよいでしょう。ものがたくさんあるとき、2個ずつ、あるいは5個ずつ数えたほうが簡単であることに気づけるとよいでしょう。



OK! □ 2とびの数の数え方がわかる。

□ 5とびの数の数え方がわかる。

き ほん

10 15 20
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

1 ① 11 14 18

② 2 11 18

③ 13 16 18

④ 6 9 15

ひだり

左から じゅんに かずを よみながら、
かいて みよう！

き ほん

① 9 11 ② 18 16

2 ① 16 19 ② 15 13

③ 4 11 ④ 12 7

⑤ 20 10 ⑥ 8 18

⑦ 10 14 ⑧ 20 9

● おうちのかたへ

数の大小は、数直線を見ながら考えるとよいでしょう。



OK! □ 20までの数の大小関係がわかる。

き ほん

① 1 ② 10

1 ① 2 ② 3

③ 4 ④ 5

⑤ 7 ⑥ 10

10の まとまりと いくつに わけら
れるか、かんがえて みよう。

2 ① 10 ② 10

③ 10 ④ 10

3 ① 11 ② 12

③ 14 ④ 16

⑤ 18 ⑥ 20

4 ① 15 ② 10

③ 6 ④ 17

⑤ 9 ⑥ 10

⑦ 13 ⑧ 8

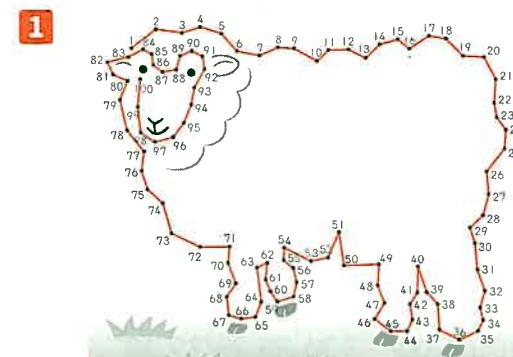
● おうちのかたへ

11から20までの数を、「10といくつ」に分けて考えます。実際に、おはじきなどを「10のまとまり」と「いくつ」に分けて並べ、11から20までの数を表してみるとよいでしょう。



OK! □ 11から20までの数の構成がわかる。

き ほん

※じゅんに よんで ○が
かけて いたら 正しい。かずの じゅんに きを つけてね。
よみながら せんで つなごう！

● おうちのかたへ

まずは、表を見ながら、1から100までの数を読んでみましょう。このとき、左から右へ順番通りに読んでいるか見てあげましょう。

100まで読んだら、表を見て何か気づいたことはないかとたずねてみるのもよいでしょう。例えば、「表を縦に見ると、数が10ずつ増えている」といったことに気づくかもしれません。

1では、数を読みながら線でつないでいきます。数の順番がわからなくなったら、100までの数の表を見ながら、「○の次は○だね」のように声をかけてあげるとよいでしょう。



OK! □ 100までの数を読むことができる。

き ほん

1 ① 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

② 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

2 ① 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
31 32 33 34 35 36 37 38 39 40
41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

② 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
31 32 33 34 35 36 37 38 39 40
41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

③ 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
31 32 33 34 35 36 37 38 39 40
41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

かずを じゅんに よみながら かいて
いこう。

● おうちのかたへ

まずは、表を見ながら、1から50までの数を読んでみましょう。

表の空所に数を書くときは、最初は表の左上から順に、
数を読みながら書いていくとよいでしょう。

数を読むことに慣れたら、空所の前後や上下の数から何
が入るかを判断してもよいでしょう。例えば、「縦に見る
と数が10ずつ増えている表だから、21と41の間には31
が入る」と考えてもよいでしょう。

★ OK! □ 50までの数を読んで、書くことができ
る。

き ほん

1 ① 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
61 62 63 64 65 66 67 68 69 70

② 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
61 62 63 64 65 66 67 68 69 70

2 ① 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80
81 82 83 84 85 86 87 88 89 90
91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

② 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80
81 82 83 84 85 86 87 88 89 90
91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

③ 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80
81 82 83 84 85 86 87 88 89 90
91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

かずを じゅんに よみながら かいて
いこう。

● おうちのかたへ

まずは、表を見ながら51から100までの数を読んでみま
しょう。

表の空所に数を書くときは、最初は表の左上から順に数
を読みながら書いていくとよいでしょう。読むことに慣
れたら、数の並び方のきまりを見つけて、空所の前後や
上下の数から何が入るかを判断してもよいでしょう。

★ OK! □ 51から100までの数を読んで、書くこ
とができる。

れんしゅう

1 ① 21 22 23 24 25 26

② 31 32 33 34 35 36

③ 61 62 63 64 65 66

④ 91 92 93 94 95 96

⑤ 10 20 30 40 50 60

2 ① 50 49 48 47 46 45

② 90 89 88 87 86 85

③ 100 90 80 70 60 50

④ 100 95 90 85 80 75

③は 10ずつ、④は 5ずつ、かずが
へって いるね。

3 ① 53 54 55 56 57 58

② 67 66 65 64 63 62

③ 36 37 38 39 40 41

④ 82 81 80 79 78 77

● おうちのかたへ

最初に、書き込まれている数を見て、数が増えているのか、
減っているのか、また、いくつずつ増えて(減って)いる
のかを確認します。それから、空所の前後の数から判断
して、あてはまる数を書きましょう。

★ OK! □ 100までの数を読んで、書くことができ
る。

き ほん

1 ① 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
11 12 13 14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
31 32 33 34 35 36 37 38 39 40
41 42 43 44 45 46 47 48 49 50
51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
61 62 63 64 65 66 67 68 69 70
71 72 73 74 75 76 77 78 79 80
81 82 83 84 85 86 87 88 89 90
91 92 93 94 95 96 97 98 99 100
101 102 103 104 105 106 107 108 109 110
111 112 113 114 115 116 117 118 119 120

かずを じゅんに よみながら かいて
いこう。

● おうちのかたへ

101から120までの数が書けるようになりましょう。「100
と1」、「100と7」、「100と12」のように、「100といくつ」
の形で考えるとよいでしょう。また、101から109につい
ては、「1001」や「1009」と書かないように気をつけましょ
う。

★ OK! □ 120までの数を読んで、書くことができ
る。

れんしゅう

- 1 ① 101-102-103-104-105
② 106-107-108-109-110
③ 111-112-113-114-115
④ 116-117-118-119-120

みぎ 右に すすむと、かずは おお 大きく なっ
て いるね。

- 2 ① 110-109-108-107-106
② 105-104-103-102-101
③ 120-119-118-117-116
④ 115-114-113-112-111

みぎ 右に すすむと、かずは ちい 小さく なっ
て いるね。

- 3 ① 103-104-105-106-107
② 109-110-111-112-113
③ 117-116-115-114-113
④ 112-111-110-109-108
⑤ 105-106-107-108-109

● おうちのかたへ

最初に、書き込まれている数を見て、数が増えているのか、減っているのかを確認します。あとは、空所の前後の数から判断して、あてはまる数を書きましょう。

★ OK! □ 120までの数を読んで、書くことができる。

きほんレベル

1

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
101	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	112	113	114	115	116	117	118	119	120

- 2 ① 27-28-29-30-31-32-33
② 113-112-111-110-109-108

はってんレベル

- 3 ① (24) ② (27)
③ (41) ④ (79)
⑤ (103) ⑥ (116)

- 4 ① 2-4--8-10-12-14
② 10-15--25-30--40
③ 101-102-103---106

いくつずつ おお 大きく なって いるか
な？

● おうちのかたへ

35ページの3は、表を完成させて考えるのではなく、①～⑥の周囲の数から判断させましょう。

★ OK! □ 1から120までの数がわかる。

き ほん

(23こ)

- 1 ① (26本)
② (32本)
③ (57本)
④ (64本)
⑤ (73本)

れんしゅう

- 1 ① (21こ)
② (25こ)
③ (48こ)
④ (30人)
⑤ (32ひき)

10の まとまりが いくつ、ばらが
いくつ あるか かぞえて みよう。

● おうちのかたへ

大きい数を1つずつ数えるのは大変です。10のまとまりをつくと数えやすいことを確認しましょう。「10個のまとまりが2つとばらが1個で、21個」、「10個のまとまりが2つとばらが5個で、25個」のように考えましょう。

★ OK! □ 大きい数の数え方がわかり、数えることができる。

れんしゅう

- 1 ① (54まい)
② (90まい)
③ (82まい)
④ (67まい)
2 ① (63こ)
② (79こ)
③ (96本)

10の まとまりが いくつ、ばらが
いくつ あるか かぞえて みよう。

● おうちのかたへ

10のまとまりの数と、ばらの数をそれぞれ数えて求めます。「10枚のまとまりが5つとばらが4枚で、54枚」、「10個のまとまりが6つとばらが3個で、63個」と考えましょう。

★ OK! □ 大きい数を数えることができる。

おうようだい

- 1 ① 23まい
② 42本
③ 68こ
④ 85人
⑤ 48わ

10のまとまりをつくって かぞえよう。

まとまりを えに かきこむと かぞえやすいよ。

きほん

(105こ)

- 1 ① (117^{ほん}本)
② (120^{ほん}本)

10のまとまりが 10こで 100になるよ。

れんしゅう

- 1 ① (112^{まい}まい)
② (106^{ほん}本)
③ (119こ)
④ (110^{えん}円)

● おうちのかたへ

絵を見て数を数える問題ですが、⑤は10のまとまりができていません。絵を10羽ずつ線で囲んで10のまとまりをつくり、10のまとまりの数と、ばらの数をそれぞれ数えて求めましょう。



OK! □ 10のまとまりを自分でつくって、大きい数を数えることができる。

● おうちのかたへ

100をこえる数を数えるときは、10のまとまりが10こで100になることをもとにして考えましょう。「10本のまとまりが10こで100本。さらに、10本のまとまりが1こばらが7本で17本だから、全部で117本」のように求めるとよいでしょう。



OK! □ 100より大きい数を数えることができる。

きほんレベル

- 1 ① (1こ)
② (3こ)
③ (0こ)
④ (8こ)
⑤ (10こ)

- 2 ① (24^{ひき}ひき)
② (87^{ほん}本)
③ (102こ)

10のまとまりが 10こで 100になるよ。

はってんレベル

- 3 ① (110^{まい}まい)
② (19^本本)
③ (65^本本)
④ (35^円円)

5のまとまりは 2つで 10になるよ。

● おうちのかたへ

大きい数の数え方の、まとめの問題です。大きい数は10のまとまりをつくって数えること、10のまとまりは10こで100になることを確認しましょう。

はってんレベル 3②～④は、5のまとまりを使って「5、10、15、…」と数えるか、5のまとまりを2つずつ組にして10のまとまりをつくって数えます。数えやすいほうで求めるとよいでしょう。



OK! □ 大きい数を数えることができる。

きほん

(30^{ほん}本)

- 1 ① (40^{ほん}本)
② (50^{ほん}本)
③ (60^{ほん}本)
④ (90^{ほん}本)

れんしゅう

- 1 ① (30こ)
② (50こ)
③ (70まい)
④ (80さつ)

10のまとまりで かずを かぞえよう。
10のまとまりが 1つで 10、2つで 20、3つで 30だよ。

● おうちのかたへ

10のまとまりの数から、「何十」の数を表せるようになります。最初は、絵を見て10のまとまりの数を数えて求めてもよいでしょう。



OK! □ 「何十」の数の表し方がわかる。

き ほん

30

- 1 ① 40 ② 50
③ 60 ④ 70
⑤ 80 ⑥ 90

き ほん

3

- 2 ① 4 ② 5
③ 6 ④ 7
⑤ 8 ⑥ 9

それぞれ 10が いくつ あるのかを
かんがえよう！

● おうちのかたへ

「何十」の数を、「10が4つで40」のように10を単位にして考えましょう。

★ OK! ☐ 「何十」の数の構成がわかる。

き ほん

10

- 1 ① 10 ② 10
③ 10 ④ 10
⑤ 10 ⑥ 10

4つ あつまると 40に なるのは ど
んな かずかな？

れんしゅう

- 1 ① 4 ② 60
③ 10 ④ 50
⑤ 10 ⑥ 3
⑦ 70 ⑧ 9
⑨ 10

● おうちのかたへ

「何十」という数を、10を単位にして10のいくつ分かで考えてみましょう。

★ OK! ☐ 「何十」の数の構成がわかる。

き ほん

25

- 1 ① 32 ② 43
③ 51 ④ 66
⑤ 74 ⑥ 89

き ほん

2

- 2 ① 3 ② 6
③ 9 ④ 2
⑤ 7 ⑥ 5

32は 30と 2に わけられるね。

● おうちのかたへ

20より大きい数を「10がいくつと1がいくつ」の形で考えます。

1は、「10が3つで30、1が2つで2だから、30と2で32」のように考えるとよいでしょう。

また、2は、「32は30と2に分けられる。30は10が3つで、2は1が2つ」のように考えるとよいでしょう。

★ OK! ☐ 20より大きい数の構成がわかる。

き ほん

2, 5

- 1 ① 3, 2 ② 4, 5
③ 2, 9 ④ 8, 3
⑤ 5, 4 ⑥ 6, 7

れんしゅう

- 1 ① 5 ② 9, 4
③ 37 ④ 6, 8
⑤ 2 ⑥ 45
⑦ 8, 1 ⑧ 9
⑨ 33

10が いくつと 1が いくつに なる
か、かんがえよう！

● おうちのかたへ

「何十何」の数を「10がいくつと1がいくつ」の形で表します。

まずは、「何十」と「何」に分けて考えてみましょう。例えば、32は30と2に分けてから、「30は10が3つ、2は1が2つ」と考えるとよいでしょう。

★ OK! ☐ 20より大きい数の構成がわかる。

26 100の かずの
あらわしかた 56・57
ページ

き ほん

(100こ)

- 1 ① (100こ)
② (100まい)
③ (100こ)

10の まとまりが 10こ あるね。

れんしゅう

- 1 ① (100こ)
② (100こ)
③ (100こ)
④ (100ぴき)

10の まとまりと ばらが それぞれ
いくつ あるかを かぞえよう。
あわせると ぜんぶで いくつに なる
かな？

● おうちのかたへ

10のまとまりが10個集まると100になることを理解させ
ましょう。

1から100までの数の表を横か縦に見て、10のまとまり
が10個分あることを確認してみてもよいでしょう。

★ OK! □ 100の表し方がわかる。

27 十のくらいと 一のくらい 58・59
ページ

き ほん

- ① 2 ② 5

- 1 ① (1) 3 (2) 7
② (1) 4 (2) 0

れんしゅう

- 1 ① 6, 5 ② 9, 0
③ 2, 1 ④ 1, 7
⑤ 8, 9

65は、10が 6つと 1が 5つだね。

● おうちのかたへ

「何十何」の数の、十の位と一の位についての学習です。
まずは、「何十何」を10のまとまりとばらに分けたとき、
十の位の数字が10のまとまりの個数を、一の位の数字が
ばらの個数を表していることを理解させましょう。それ
から、「何十何」の数の左側の数字が十の位、右側の数字
が一の位であることに気づけるとよいでしょう。

★ OK! □ 2けたの数の十の位と一の位がわかる。

28 たしかめテスト③ 60・61
ページ

き ほん レベル

- 1 ① 50 ② 87
③ 4 ④ 3, 6

- 2 ① (100こ)
② (100まい)

10の まとまりが 10こで 100に
なるよ。

- 3 ① 7, 0 ② 1, 2
③ 9, 3

はってんレベル

- 4 ① ②

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
101	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	112	113	114	115	116	117	118	119	120

- ③ (10, 20, 30, 40, 50,
60, 70, 80, 90, 100,
110, 120)

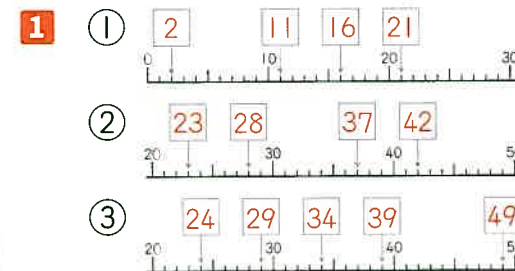
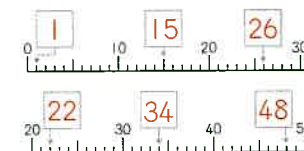
● おうちのかたへ

大きい数のまとめの問題です。2けたの数の構成や表し
方、十の位、一の位について確認しましょう。

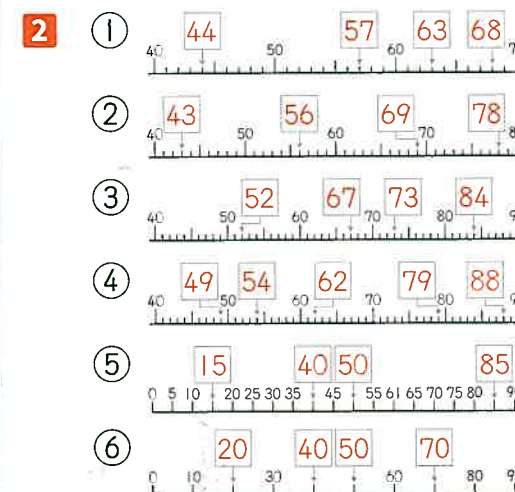
★ OK! □ 2けたの数の構成がわかる。
□ 120までの数がわかる。

29 かずのせん① 62・63
ページ

き ほん



かずのせんは、^{ひだり}左から ^{みぎ}右へ ^{おお}かずが
大きく なって いくよ。

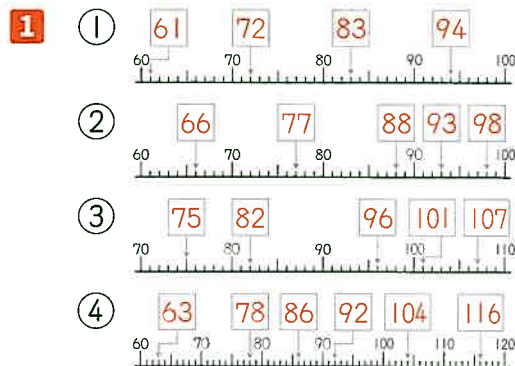


● おうちのかたへ

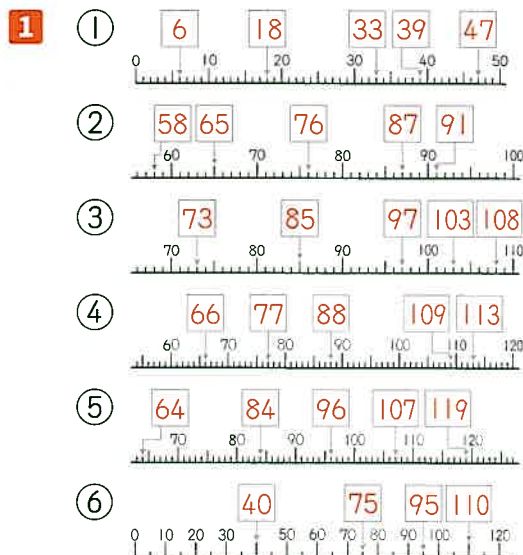
数直線を使って数の並び方を理解させましょう。62ペー
ジの1ではいちばん小さい目盛りは1を表します。

★ OK! □ 数直線を使って、90までの数の並び方
がわかる。

きほん



れんしゅう



● おうちのかたへ

数直線は、数が大きくなるときは右へ進み、小さくなるときは左へ進みます。実際に指を動かして、目盛りを数えながら示してあげるとよいでしょう。



OK! □ 数直線を使って、120までの数の並び方がわかる。

きほん

① 21 ② 19

1 ① 41 ② 39
③ 46 ④ 44

かずのせんをみてみよう！
かずは、1 大きく なる ときは
右に 1 すすんで、1 小さく なる
ときは 左に 1 すすむよ。

きほん

① 22 ② 18

2 ① 90 ② 86
③ 104 ④ 100

かずのせんをみてみよう！
かずが 2 大きく なる ときは
右に 2 すすんで、2 小さく なる
ときは 左に 2 すすむよ。

● おうちのかたへ

数直線を使って、もとなる数より1大きい数や1小さい数、2大きい数や2小さい数を求めます。数直線のいちばん小さい目盛りは1を表していて、数が大きくなる時は右へ進み、小さくなる時は左へ進むことをしっかりと理解させてあげましょう。実際に指を動かして、目盛りを数えながら示すとよいでしょう。



OK! □ 数直線を使って、もとなる数の1大きい数、1小さい数がわかる。
□ 数直線を使って、もとなる数の2大きい数、2小さい数がわかる。

きほん

① 23 ② 17

1 ① 95 ② 89
③ 120 ④ 114

かずのせんをみてみよう！
かずが 3 大きく なる ときは
右に 3 すすんで、3 小さく なる
ときは 左に 3 すすむよ。

れんしゅう



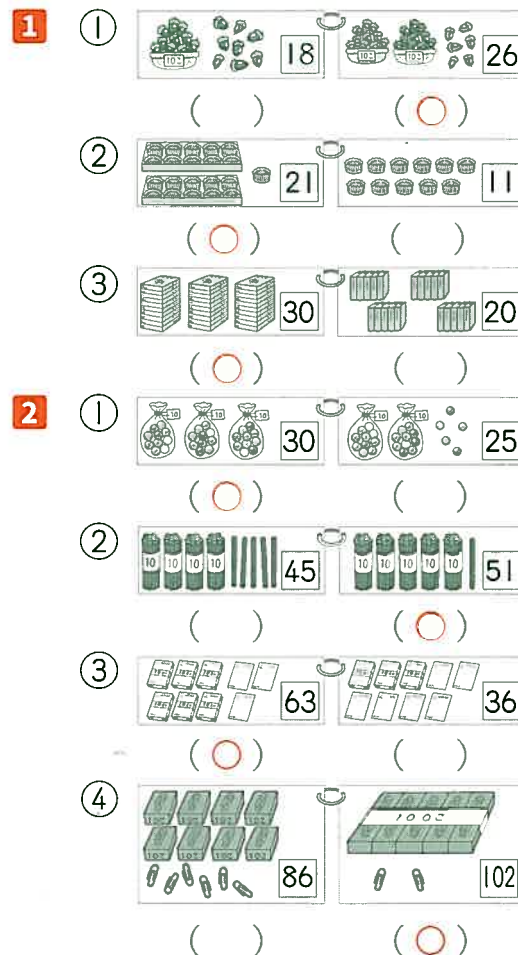
● おうちのかたへ

数直線の読み取り方をしっかりと理解しましょう。右に進むと数は大きく、左に進むと数は小さくなることを確認させてください。



OK! □ 数直線を使って、もとなる数の3大きい数、3小さい数がわかる。
□ 数直線なしで、大きい数、小さい数がわかる。

きほん



左と 右の ものの かずや 十のくらの
すうじを くらべよう！ 十の
まとまりは どちらが おおいか？

● おうちのかたへ

数の大きさを比べる問題です。10のまとまりがいくつとばらばらいくつあるかを左右で比べましょう。数だけで大きさが比べられないときは、絵をヒントに考えさせてみましょう。



OK! □ イラストをヒントに、大きい数の大小関係がわかる。

けいさん

$$20 + 40 = 60$$

- 1 ① 40 ② 70
③ 70 ④ 90
⑤ 90 ⑥ 90

- 2 ① 100 ② 100
③ 100 ④ 100

ぶんしょうだい

- 1 しき $20 + 30 = 50$
こたえ (50本)

- 2 しき $30 + 40 = 70$
こたえ (70こ)

- 3 しき $50 + 50 = 100$
こたえ (100まい)

10の まとまりが ぜんぶで いくつ
あるか かんがえよう!

● おうちのかたへ

「あわせた数」「全部の数」を求めるときは、たし算を使
って求めます。式から答えが出せないときや文章から立
式できないときは、数え棒やおはじきなどを使って、実
際に10のまとまりをつくらせて考えるとよいでしょう。

★ OK! □ (何十)+(何十)の計算と文章題ができ
る。

けいさん

$$20 + 2 = 22$$

- 1 ① 25 ② 36
③ 67 ④ 94
⑤ 59 ⑥ 83

- 2 ① 25 ② 39
③ 49 ④ 78
⑤ 97 ⑥ 57

ぶんしょうだい

- 1 しき $20 + 8 = 28$
こたえ (28こ)

- 2 しき $26 + 3 = 29$
こたえ (29わ)

- 3 しき $22 + 7 = 29$
こたえ (29人)

「ぜんぶで なん^{にん}人」を もとめるから
たしざんの しきに なるよ。
こたえに 「人^{にん}」も かこうね。

● おうちのかたへ

(何十何)+何は、何十何を「10が〇こと、ばらが〇こ」
に分けて、同じ位どうしで計算しましょう。
実際に数え棒やおはじきなどを使って示すとわかりやす
いでしょう。

★ OK! □ (何十)+何の計算と文章題ができる。
□ (何十何)+何の計算と文章題ができる。

けいさん

$$40 - 10 = 30$$

- 1 ① 10 ② 20
③ 30 ④ 10
⑤ 30 ⑥ 20

- 2 ① 90 ② 80
③ 40 ④ 10

ぶんしょうだい

- 1 しき $70 - 20 = 50$
こたえ (50本)

- 2 しき $50 - 30 = 20$
こたえ (20まい)

- 3 しき $100 - 80 = 20$
こたえ (20円)

100は 10が 10こ あつまった か
ずだね。

● おうちのかたへ

「残りの数」「違いの数」を求めるときは、ひき算を使っ
て求めます。数え棒などを使って具体例を示すと、理解
が深まるでしょう。例えば、「30-20」の計算は、10のま
とまりが3-2で、残りは10のまとまりが1こなので、
10になります。

★ OK! □ (何十)-(何十)の計算と文章題ができ
る。
□ 百-(何十)の計算と文章題ができる。

けいさん

$$37 - 7 = 30$$

- 1 ① 20 ② 30
③ 80 ④ 40
⑤ 70 ⑥ 60

- 2 ① 21 ② 42
③ 62 ④ 53
⑤ 34 ⑥ 91

ぶんしょうだい

- 1 しき $46 - 6 = 40$
こたえ (40こ)

- 2 しき $38 - 7 = 31$
こたえ (31人)

- 3 しき $55 - 5 = 50$
こたえ (50まい)

「のこりの かず」を もとめるから
ひきざんの しきに なるよ。
こたえに 「まい」も かこうね。

● おうちのかたへ

(何十何)-何は、何十何を「10が〇こと、ばらが〇こ」
に分けて考えましょう。
例えば、けいさんの①①は $23 - 3 = 2$ と答えないように注
意します。同じ位どうしで計算できているか見てあげて
ください。23の「2」は十の位の数字です。

★ OK! □ (何十何)-何の計算と文章題ができる。

42 たしかめテスト⑤

88・89
ページ

きほんレベル

- 1 ① 90 ② 100
③ 40 ④ 70
⑤ 79 ⑥ 50
⑦ 95 ⑧ 60
⑨ 24 ⑩ 30
⑪ 47 ⑫ 36
⑬ 70 ⑭ 66
⑮ 88 ⑯ 54

はってんレベル

- 2 ① **しき** $40+60=100$
こたえ (100本)
② **しき** $60-40=20$
こたえ (青い ^{はな}花が
20本 おおい。)
- 3 ① **しき** $24-4=20$
こたえ (20こ)
② **しき** $24+4=28$
こたえ (28こ)

りんごは みかんより 4こ おおいから、みかんの かずに 4こ たせば、りんごの かずに なるよ。

● おうちのかたへ

大きい数のたし算とひき算のまとめの問題です。計算が苦手な場合は、数え棒などを使って10のまとまりで考えることを身につけさせましょう。



OK! ☐ 大きい数のたし算ができる。

☐ 大きい数のひき算ができる。

43 かんせいテスト①

90・91
ページ

1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
2	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
3	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
4	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
5	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
6	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
7	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
8	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
9	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
10	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110
11	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120



- 3 ① (5こ) ② (10こ)
③ (36こ) ④ (74本)
⑤ (89まい) ⑥ (100こ)
⑦ (43こ) ⑧ (30さつ)

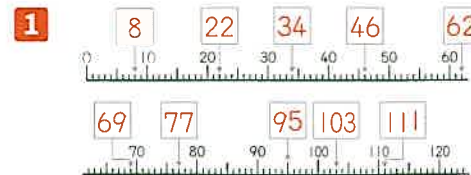
10の まとまりが いくつと、ばらがいくつ あるかを かぞえよう。
かぞえた ものに しるしを つけていくと いいよ!

● おうちのかたへ

数の表に入る数は前後上下の周囲の数から判断しましょう。数直線では、1目盛りが1で右に進むにつれて数が大きくなります。目盛りのよみ間違いに注意しましょう。大きい数を数えるときは、10のまとまりをつくと数えやすいです。数え忘れないように印をつけながら数えるとよいでしょう。

44 かんせいテスト②

92・93
ページ



- 2 ① 8 ② 12
③ 100 ④ 60
⑤ 3 ⑥ 7, 9
⑦ 41

- 3 ① 67 ② 41
③ 89 ④ 107

- 4 ① 90 ② 50
③ 62 ④ 97

- 5 ① 13 31 ② 57 49
③ 82 28 ④ 104 110

かずの ^{おお}大きさは、^{じゅう}十のくらいの すうじを くらべよう。
^{ちい}小さい ほうを ○で かこむよ。

● おうちのかたへ

数を10のまとまりとばらに分けて考えることができるか確認しましょう。実際に、数え棒などを使って示すとわかりやすいでしょう。

45 かんせいテスト③

94・95
ページ

- 1 ① 1 2 3 4 5 6
② 100 99 98 97 96 95
③ 2 4 6 8 10 12
④ 5 10 15 20 25 30
⑤ 67 68 69 70 71 72

- 2 ① 34こ ② 36^{ほん}本

- 3 ① 1, 7 ② 9, 6

- 4 **しき** $40+60=100$
こたえ (100こ)

「あわせた かず」を もとめるから
たしざんの しきに なるよ。

- 5 **しき** $67-5=62$
こたえ (62こ)

「のこりの かず」を もとめるから
ひきざんの しきに なるよ。

● おうちのかたへ

数の並び方では、書き込んである数から、空所の数を判断します。「右に進むにつれて数が1ずつ大きく(小さく)なっている」など理由もあわせて言えるとよいでしょう。たし算やひき算の文章題では、数え棒などを使って実際の場面を考えるとわかりやすいでしょう。

